

フェザークッションの特性



ソファに使用されているフェザー（羽根）は柔らかく包み込むふんわり感で、座った際の気持ち良さを作り出す重要な役割を果たしています。

この「柔らかく包み込む」という特性上、クッションの形が変化しやすいのも特徴です。

クッションに使用されているフェザーは、独自の配分でフェザーと高密度ウレタンをブレンドした復元力の高い「ウレタン混合フェザークッション」になっています。

復元力を高めることで、パンパンに詰まった硬いフェザークッションでは出せない「ふんわりとした心地良さ」をルーズクッションで表現しています。



日々の簡単なメンテナンスをして頂く事で、ソファの形状維持と心地良さが持続します。



【日々のメンテナンス方法】

クッションをカバーの上から揉みほぐしてください。中のフェザーを全体に行き渡らせるイメージです。

クッションは写真のように寝かせた状態にするとお手入れしやすいです。

★日々のメンテナンスはこれで十分です。

※メンテナンスをしないままご使用になられていると、フェザーが大きく片寄ります。（裏面へ）



TAKUMI SOFA

フェザークッションメンテナンス方法

日々のメンテナンスをせずに使用し続けると、カバーの中でフェザー袋が片寄ってきます。

片寄ったフェザー袋はほぐして全体にならして頂くと形状が復元します。

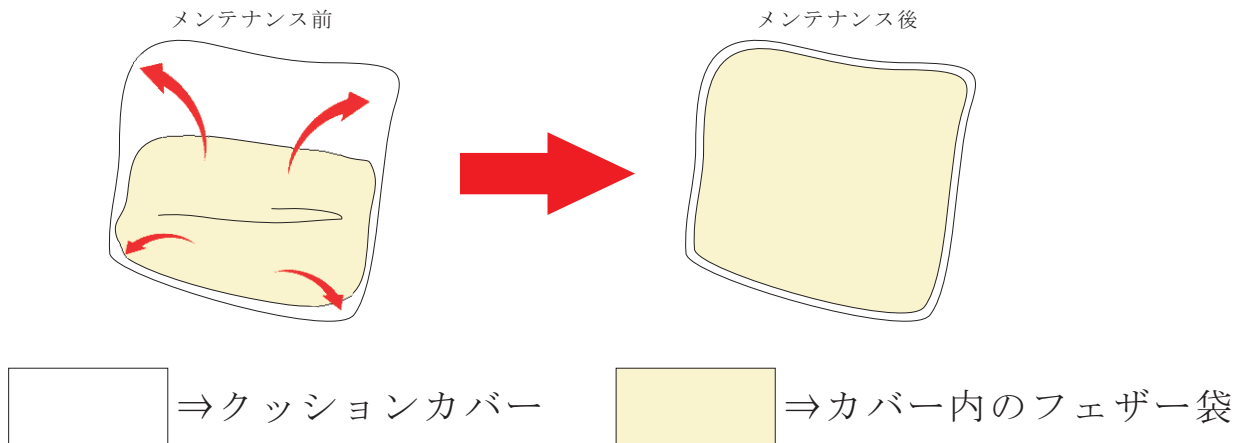
▼クッション（背、肘、腰）の型崩れが気になった時のメンテナンス



クッションカバーのファスナーを開けます。
（最初はファスナーの取っ手を取りづらいのでご注意ください。）



フェザー袋とカバーの間に手を入れ、フェザーがクッション全体に行き渡るように揉みほぐします。



【ワンポイントアドバイス】

たまにフェザー袋をカバーから出して陰干しして頂くのも効果的です。

▼シートクッションの型崩れが気になった時



シートクッション全体をカバーの上から叩いて空気を含ませてください。